

LPガスCP情報(2014年8月積み)

1. 8月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **780** ^{ドル} (前月比 -40 ^{ドル})

ブタン **800** ^{ドル} (前月比 -40 ^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、不需要期でフレートの急反騰もあって市場は閑散とした状況、スポット供給は潤沢、原油市況軟化を受けて、市況は軟調に推移した。CP先物は第3週にフレート急騰もあり急落、石化需要でブタン高プロパン安となっていたが、第3週に一時逆転したが、第4週にはプロパン安ブタン高に戻した。なお、期先は9月限をボトムに12月限までコンタンゴ(期先高)となっている。フレート市況はインド勢の引きで船舶需給が逼迫し急騰、過去最高を記録した。ナフサは原油市況の下落で軟化980~960 ^{ドル}まで下げている。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン、ブタン3ポイントの下落、前年同月比ではプロパン7、ブタン5ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	129	128	142	130	132
CP先物指標：P	804	801	789	788	796
CP先物指標：B	824	816	784	808	808

② 原油市況等

原油市況をみると、7月WTIは105 ^{ドル}台で始まったが、ウクライナ、イラクの地政学的リスクも供給に問題はないとの観測で、リビアの増産・輸出再開やイラクの増産見込みで15日には一時100 ^{ドル}を割り込んだ。月後半はウクライナ東部のマレーシア航空機撃墜問題、イスラエルのガザ地区侵攻など地政学上のリスクが下支えする一方、米原油生産量は1986年10月以来の高水準が続いているものの製油所稼働率が2006年6月以来の高水準となり、全米原油在庫は急減、クッシング在庫も2008年11月以来の水準に減少、原油市況は100~104 ^{ドル}のレンジで推移した。原油先物市場は6月24日大口投機玉の買い越しが45.9万枚と過去最高を更新したが、7月に入り4週連続で減少、22日時点で37万枚に減少している。

○7月積みアラビアンライト(7月1~30日)は108.49 ^{ドル} (前月比-1.21 ^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン 889.47 ^{ドル/トン} ブタン 877.27 ^{ドル/トン}

AL比 プロパン 87.69% ブタン 91.19%

***上記ALはE I N推計値、確定値は後日Webサイトでご確認ください。**

2. 2014年8~9月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	102.78	80,168	82,224	-4,100	-4,100
26~25日②	102.62	82,100	84,100	-3,200	-2,200
1~30日③	102.73	82,200	84,200	-3,100	-2,100

*TTS平均は①が7月16日~7月30日まで、②は6月26日~7月25日

③は7月1~31日、①は9月仕切への影響、②~③は8月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。